

## 競技注意事項

1. 本大会は、平成26年度日本陸上競技連盟競技規則に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮して、特に教育的配慮のもとに競技を進行する。
2. 参加種目は一人2種目までとする。  
リレー2種目には出場できない。  
リレーの補欠は1種目と数える。
3. スパイクシューズは使用してもよい。(ピンはオールウェザー用のものを使用し、長さは7ミリ以下とする。)
4. コールは行わない。競技開始15分前までに集合の予告放送をするので、10分前までに、集合場所に集まり、(フィールド種目も) 係の指示に従うこと。
5. スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。  
また、1回目のスタートでフライングがあった場合、2回目以降のスタートでは、フライングした選手を即失格とする。(ただし教育的配慮で参考記録として記録は測定する。)
6. 100m, 80mハードル, リレーの選手は、自分のレーンを走り、ゴール後は自分のレーンにもどること。
7. リレーにおけるテーク・オーバーゾーン手前からの助走マーク(10mの補助ゾーン)の使用を認める。
8. 100mは、**決勝を実施する**。ただし80Hと長距離種目は、小学生の体力を考慮し、タイムレース決勝とする。またリレー種目は参加者が少ないため、それぞれ2組タイムレース決勝とする。リレーの補欠として登録していた選手については、個人種目への追加登録を認める。  
走り幅跳びは、全員3回の試技を行い、各学年の部とも上位8名が残り3回の試技を行い、6回の試技で順位を決定する。  
走高跳の試技は1mから開始し、足からの着地のみ有効試技とする。  
ソフトボール投げは、全国大会のルールに従い、全員3回の試技のみで順位を決定する。  
助走距離は15m以内とする。  
どの種目も表彰は各学年の部別、男女別に行う。
9. 各種目とも上位6位までを表彰する。ただし参加者が8名以下の種目は3位までの表彰とする。参加者全員に記録証を配布する。(記入は各団体で行うこと)記録は速報板に掲示するのでよく確認のこと。なお、倉敷JCのホームページにも掲載するので、見落とした場合はそちらで確認のこと。
10. **各チームの指導者は、見学のマナーも含めて、選手の指導・管理を徹底すること。**
11. 本大会出場選手には、主催者側で1日傷害保険に加入しているが、けがや事故には十分注意すること。大会出場時の急病・事故については、応急処置以外の責任は負わない。なおけがをして病院に行く可能性のある場合は、必ず大会終了までに本部に申し出ておくこと。
12. 貴重品の管理は各人で行うこと。紛失の責任は負わない。
13. 昼食はスタンドでとって構わないが、ごみは各自持ち帰ること。
14. チームの選手の競技が全て終了したら、ナンバーカードをチームでまとめて、受付に返納すること。